

NPPO法人「国境なき子どもたち」の活動拠点を訪問する秋野氏(向こう側右から2人目)と河野氏(右隣) 15日 バサイ町



国立東ビザヤ地域医療センターでカリンデス・シリロ院長(左端)から話を聞く秋野氏(右から2人目)と河野氏(右端) 15日 タクロバン市

# 日本の協力が不可欠

## 台風被害のフィリピン視察

秋野、河野氏

昨年11月の台風30号で甚大な被害を受けたフィリピンの復興支援に向け、公明党の秋野公造、河野義博の両参院議員は15日、回国中部のレイテ島とサマール島を訪問した。被害が大きい現地の医療機関などを視察し、被災・復興状況や日本からの支援状況を確認した。

タクロバン市(レイテ島)の国立東ビザヤでは、屋根の損壊による雨漏りで、妊婦健診や結核治療の記録の保持が困難となつている窮状の説明を受けた。

サマール島では、州立バサイ地域病院(バサイ町)を訪れ、エゴス・ルチエ医師らから、既に帰国した国際協力機構(JICA)緊急医療チームの支援で投薬や手術が可能となつたことに最大限の感謝の言葉が寄せられた。

また、一行はフィリピン保健省の現地事務所視察に続き、NPPO法人「国境なき子どもたち」や、現地で活躍する青年海外協力隊の活動拠点も訪問し、意見交換。河野氏は「海

地域医療センターでは、カリンデス・シリロ院長がCT(コンピュータ)断層撮影装置をはじめ、医療機器の多くが浸水して使用できなくなつている窮状を訴えることも

を踏まえ、新病院の建設には日本の協力が必要と訴えた。

パロ町の町立診療所では、屋根の損壊による雨漏りで、妊婦健診や結核治療の記録の保持が困難となつている窮状の説明を受けた。

サマール島では、州立バサイ地域病院(バサイ町)を訪れ、エゴス・ルチエ医師らから、既に帰国した国際協力機構(JICA)緊急医療チームの支援で投薬や手術が可能となつたことに最大限の感謝の言葉が寄せられた。

視察を終えた秋野氏は、「医療機関の損壊状況は深刻で、出産などを含む通常診療が可能な状況への回復に向けてわが国の支援が急務。今年度の補正予算と来年度予算で復興に必要な支援を働き掛けたい」と述べた。

また、一行はフィリピン保健省の現地事務所視察に続き、NPPO法人「国境なき子どもたち」や、現地で活躍する青年海外協力隊の活動拠点も訪問し、意見交換。河野氏は「海

その一方で、屋根の損壊で雨漏りが激しく、日本の医療支援チーム撤退後の診療機器や医師・看護師、医薬品の確保などの要望が寄せられた。

視察を終えた秋野氏は、「医療機関の損壊状況は深刻で、出産などを含む通常診療が可能な状況への回復に向けてわが国の支援が急務。今年度の補正予算と来年度予算で復興に必要な支援を働き掛けたい」と述べた。

また、一行はフィリピン保健省の現地事務所視察に続き、NPPO法人「国境なき子どもたち」や、現地で活躍する青年海外協力隊の活動拠点も訪問し、意見交換。河野氏は「海

外で活躍する多くの日本人青年の意識とスキル(技術)の高さを生かして連携を強化し、子どもたちの笑顔を取り戻したい」と強調し、「台風被害の復興支援を通じ、同様の災害が起ころうるわが国の離島地域における防災・減災の政策立案に役立てたい」と語った。

# 感染症抑制へ監視継続を

## 台風被害の復興支援へ フィリピン保健相らと会談

秋野、河野氏



オナ保健相(左端)と意見を交わす秋野氏(右端)と河野氏(右から2人目)=17日 マニラ市

昨年11月の台風で大規模な被害を受けたフィリピン、現地を訪れている

公明党の秋野公造、河野義博の両参院議員は、16日と17日にかけて被害が大きかった同国中部のレイテ島を中心に精力的に視察したほか、現地や同国の要人と相次いで会談した。

同島の商業・教育の中核都市であるタクロバン市では16日、アルフレッド・ロムアルデス市長と会見し、被害状況の説明を受けた。ロムアルデス市長は、「台風による被災で沿岸に住む住民7000世帯の高台移転を計画しているが、電柱の倒

壊などによる送電網の被害により電力の提供が困難になっている」と語り、日本の継続的な支援を依頼した。

その後、一行は同市内の社会福祉開発省東ビサヤ地域事務所を訪問。日本などからの支援物資の状況を見て回り、被災家族に向けた米や缶詰などの食料品セットが分配されている様子を確認した。

ドゥラゲトでは、被災した住民に建材を無償提供する、NPO法人「アジア日本相互交流センター」(ICAN)の活動を視察。ト



オナ保健相は、「日本の国際緊急援助隊・

タンやベニヤ板のセットが配布されている場所では、集まった住民から、心からの感謝の言葉が寄せられた。

両議員は、17日には首都のマニラ市内でエリンケ・オナ保健相やロヘリオ・シンソン公共事業道路相とそれぞれ会見。

オナ保健相は、「日本の国際緊急援助隊・医療チームが果たした役割は大きく、自衛隊と指摘した。その上で、母子保健の充実や、今後の中核的医療機関の再建に当たっては、災害時の拠点としての機能を備える必要性についても意見交換した。

秋野氏は「初期のワクチン接種や投薬、防疫などの対応により、懸念された急性期の感染症は抑制されているが、感染症については今後も被災地外の避難先も含めてNPO法人「ICAN」の活動拠点で現地住民と懇談する秋野氏(左端)と河野氏(左から3人目) 16日、ドゥラゲト

「ICAN」の活動を視察。ト

タンやベニヤ板のセットが配布されている場所では、集まった住民から、心からの感謝の言葉が寄せられた。

両議員は、17日には首都のマニラ市内でエリンケ・オナ保健相やロヘリオ・シンソン公共事業道路相とそれぞれ会見。

オナ保健相は、「日本の国際緊急援助隊・医療チームが果たした役割は大きく、自衛隊と指摘した。その上で、母子保健の充実や、今後の中核的医療機関の再建に当たっては、災害時の拠点としての機能を備える必要性についても意見交換した。

秋野氏は「初期のワクチン接種や投薬、防疫などの対応により、懸念された急性期の感染症は抑制されているが、感染症については今後も被災地外の避難先も含めてNPO法人「ICAN」の活動拠点で現地住民と懇談する秋野氏(左端)と河野氏(左から3人目) 16日、ドゥラゲト

「ICAN」の活動を視察。ト

タンやベニヤ板のセットが配布されている場所では、集まった住民から、心からの感謝の言葉が寄せられた。

両議員は、17日には首都のマニラ市内でエリンケ・オナ保健相やロヘリオ・シンソン公共事業道路相とそれぞれ会見。

オナ保健相は、「日本の国際緊急援助隊・医療チームが果たした役割は大きく、自衛隊と指摘した。その上で、母子保健の充実や、今後の中核的医療機関の再建に当たっては、災害時の拠点としての機能を備える必要性についても意見交換した。

秋野氏は「初期のワクチン接種や投薬、防疫などの対応により、懸念された急性期の感染症は抑制されているが、感染症については今後も被災地外の避難先も含めてNPO法人「ICAN」の活動拠点で現地住民と懇談する秋野氏(左端)と河野氏(左から3人目) 16日、ドゥラゲト

「ICAN」の活動を視察。ト

化へ決意を語った。